

2月4日（火）

視覚か洞察力か

聖書朗読 マルコの福音書 10：46～52

主は盲人の目をあけ、主はかがんでいる者を起こされる。主は正しい者を愛し、
詩 146：8

私は婦人会、日常生活動作支援介護コミュニティー、企業グループなど多様なグループを定期的に慰問しています。あるグループに盲目で影しか見えない女性がいます。盲目のため他の感覚が鋭く、彼女の心は私が接するどの人よりも多くのものが見えています。彼女は他の誰よりも、私の演奏の感情やニュアンス、テンポやリズム、重要な部分を見分けることができます。

それは、今日の朗読箇所のパルテマイにも言えることでした。彼は盲目でしたが、誰よりも偉大な存在を感じ、イエス様が誰であるかをより深く理解していました。身体的な視力の欠如によって、彼は周りの誰より物事の内面を見る力を得ました。彼が見えるようになった時、どんなに素晴らしい洞察力を持っていたかを知るために、物語の続きがあればいいのと思います。

視覚は私たちにとってとても重要です。5感の中で一番重要かもしれません。しかし、私たちの主イエス様の奇跡、愛と思いやりを見る力（洞察力）も重要です。その洞察力こそ信仰によって『イエスさま、私をあわれんでください。』と言わせるものなのです。そして、イエス様が『あなたの信仰があなたを救ったのです。』と言ってくださいますように。

讚美歌 271 いさおなき我を

祈り 親愛なる神様、私たちに視覚を与えてくださりありがとうございます。あなたがどのような方であるか、私たちがあなたの御前でどうあるべきかを知るために、より深い洞察力をお与えください。癒し手を地上に遣わして下さり、恵みと慈しみを与えて下さって感謝いたします。イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジェス・ピーターソン

2月5日（水）

聖なる御名

聖書朗読 ルカの福音書 1：46～56

力ある方が、私に大きなことをしてくださいました。その御名は聖く、
ルカ 1：49

天文学者たちは、広大で複雑な宇宙の大きさを光年を使って計算します。そして何千億もの銀河や星々の間の距離を測定してみると、宇宙はまだ膨張し成長していることがわかります。私たちは生命の奇跡と人体の複雑さに驚嘆します。神様と神様の創造物の素晴らしさは人間の理解の範囲を超えています。詩篇 145：3には『主は大なる方。大いに賛美されるべき方。その偉大さを測り知ることができません。』とあります。

イエス様の母となる、卑しいはしためであったマリヤは、男の人を知らずに子を授かるということを理解できませんでしたが、神様から授かる聖なる賜物の重要性は理解していました。御使いガブリエルは『神にとって不可能なことは一つもありません。』（編注：ルカ 1：37）と彼女に告げました。彼女は喜びに満ちて、彼女のたましいは主の御名を賛美しました。『女の中の祝福された方』（ルカ 1：42）と言われるようになるからです。

私たちも彼女にならい、神様の偉大さを思い、私たちのためにしてくださったことについて賛美しましょう。

聖歌 480 輝く日を仰ぐとき

祈り 私たちのお父様、私たちが日々活動する中で、万物の創造主であるあなたを賛美致します。あなたのなさることに限界はないのだと知り、私たちがあなたの偉大さを見失うことがないようにしてください。あなたが私たちのためにしてくださるすべてのことに感謝します。イエス様の御名によって、アーメン。

ケンタッキー州 マウント・ワシントン / コニー・シンプキンス・トーマス

2月6日（木）

置いていくもの

聖書朗読 ルカの福音書 5:1～11

あなたのみこころを行うことを教えてください。あなたこそ私の神でありますから。あなたのいつくしみ深い霊が、平らな地に私を導いてくださるように。

詩 143:10

漁師が舟を残してイエス様についていったことは、町で大きなニュースにならなかったのでしょうか。イエス様がペテロ、ヤコブ、ヨハネに声をかけた時、彼らが戸惑うことはありませんでした。彼らはイエス様に従い学ぶために、自分の仕事を捨てることができました。

彼らの決断は、快適さや慣れよりも信仰を選んだことを示しています。自分たちの不信仰に何度も当惑しながらも、イエス様に従い学ぶために自分たちの仕事を捨てました。ほとんどの人は人生において、安全で慣れた物に固執しがちです。しかし、この時の弟子たちの勇気は、私たちすべてにイエス様に信頼し従うようにと挑んでいます。

イエス様に従うことを邪魔するもので、あなたが捨てたり諦めたりできるものはありませんか。主を信じ、主に従うことは時に思いもよらぬ方向に私たちを導くかもしれませんが、主の恵みは常に進むべき道を照らしてくれるでしょう。

讃美歌 536 むくいをのぞまで

祈り 神様、私たちが弟子たちのように従うことは難しいです。でも、お従いしたいのです。私たちが従うのに何が妨げになっているかを判断できますように。イエス様の御名によって。アーメン。



カリフォルニア州 サクラメント / トレイ・ジョンソン

2月7日（金）

ただただ感謝して

聖書朗読 ルカの福音書 7:36～50

イエスを招いたパリサイ人は、これを見て、「この方がもし預言者なら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っておられるはずだ。この女は罪深い者なのだから」と心ひそかに思っていた。 ルカ 7:39

イエス様はパリサイ人のシモンから夕食に招待されました。そこに見知らぬ女性がやってきて、イエス様の後ろにまわりました。彼女が罪人だということは知られていました。彼女は泣きだし、その涙がイエス様の足に落ちました。彼女は彼女の長い髪で涙でぬれた足を拭き、香油を塗り、口づけし出しました。シモンと他の客は、この光景に衝撃を受けました。シモンは心ひそかに思っていました。「どんな女であるか知っておられたら、彼女なんかに取り合わないはずだ」と。

イエス様は二人の債務者の話をして、シモンに『ふたりのうちどちらがよけいに金貸しを愛するようになるのでしょうか。』と尋ねられました。シモンは『よけいに赦してもらったほうだと思います。』と答えました。（ルカ7:41～43）するとイエス様は、シモンとその女性の違いを説明されます。彼女はイエス様をより愛し、それを行動で示しました。イエス様は彼女の愛を受け入れたので、彼女の罪が赦されたのだとシモンに言われました。

イエス様は重い罪人さえも愛し、彼らが救われることを望んでおられます。イエス様は彼女に必要なことをご存知で、このしいたげられた女性に話しかけ、従うように励まされました。私たちは、私たちが打ちひしがれてイエス様に近づくとき、イエス様が私たちを受け入れ顧みてくださるということを知って、大きな慰めを得ることができます。

讃美歌 324 主イエスは救いを

祈り お父様、あなたの愛に感謝します。私たちは、あなたが示してくださる恵みと憐れみに値しないことを知っていますが、そのことをとても感謝しています。イエス様の御名によって。アーメン。

ミシシッピ州 オリーブ・ブランチ / エディ C・ルイス

2月8日（土）

隣 人

聖書朗読 ルカの福音書 10：25～37

自分の隣人をさげすむ人は罪人。貧しい者をあわれむ人は幸いだ。

箴言 14：21

良い塀（程よい距離感）は良い隣人を作ると言う人がいますが、私もほとんどの場合そうだと思っています。プライバシー・境界線・一定の空間は、私達に内省し立ち直るための安全で休める、落ち着いた空間を与えてくれます。

塀は、“関わりたくない”“迷惑をかけないで”といった孤立のメッセージを送ることもできます。隣人が隣の小さな土地に大きな家を建てた時、私たちは今まで見ることのできていた壮大な夕日や、鶉がエサを探している風景がもう見られないこと、もう窓を開けても新鮮な空気が流れてこなくなったことを嘆きました。

塀とは、高いトレリス（編注：つる植物を這わせるための格子垣）・木・防音壁、そして嫌なものに対する、言葉ではなく態度や表情などで発せられるメッセージもそうです。ある日、私たちが留守にしている時に、飼っている大型の老犬が丘から転がり落ち、家の裏のフェンスに挟まれてしまいました。それに気付いた隣人が老犬を救い出し、泥まみれの毛をきれいにし、傷の手当てをしてくれました。

隣人は私たちと同じ教会に通っている訳ではありません。私たちと同じ政党を支持しているわけでもありませんが、神様は彼らを私たちの隣人として置かれました。ですから、私たちは神様が置かれた隣人を大切にしたいと思えます。互いに気遣い、子どもたちや孫たちのために祈っていきたいです。

讃美歌 II 26 小さなかごに

祈り 父なる神様、あなたは私たちが良き隣人となることを望んでおられます。あなたが私たちの生活の中においてくださった隣人たちの良き隣人となるように祝福してください。イエス様の御名によって。アーメン。

カリフォルニア州 ユカイパ / ポール・トーマス

2月9日（日）

生きる術（サバイバル スキル）

聖書朗読 ルカの福音書 12：49～59

偽善者たち。あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。 ルカ 12：56

子どもたちが大人になるための通過儀礼として勇気や技を披露するという社会がありました。男の子は野生動物を弓矢で射止めたり追いかけたりすることを学び、女の子は食品をきれいにしたり、保存したりしました。両親や祖父母は子どもたちに生きていくための技術を教えました。

今日の聖句は、多くのことを知りながら、『どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。』と忠告しています。動物を追いかけたり、かごを編んだりする必要はないにせよ、私たちは今の時代にどんな“生きる術”を教える必要があるのでしょうか。

車の運転の仕方を教える必要がありますが、同時に責任の取り方も教える必要があります。緊急電話のかけ方だけでなく、神様とコミュニケーションをとる方法も教える必要があります。お金の管理も大切ですが、惜しみなく与えることも重要です。図書館や研究技術にも価値はありますが、神様のみことばを愛することを学ぶのはどうでしょうか。どんなときでも神様の御名によって生きることには、強い心（勇気）と訓練（教育）が必要です。

私たちが子どもたちに大人になる術を身に着けさせるとき、クリスチャンとしての生き方を教えることも大切ですね。

讃美歌 II 83 呼ばれています

祈り 今も昔も変わらぬ親愛なる神様、私たちが今の時代を生きる中で、賢明で善悪を見分けることができますようにお導きください。世の中のやり方（スキル・技術）に振り回されて、あなたの教えに背くことがありませんように。イエス様の聖なる御名によってお祈りします。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス / スーザン K・ギボニー